

『町と連携したクリーン大作戦』

—地域と国有林との結びつき—

石巻営林署 ○総務係長 ^{きむら}木村 ^{ひでき}秀樹

収 穫 係 ^{おのだ}小野田 ^{だい}大

1 課題を取り上げた背景

当営林署は、宮城県では仙台市に次ぐ都市である石巻市と、その近郊といった比較的都市部を管轄している。

人口も23.5万と多めであるためにゴミの量も非常に多く、その不法投棄は以前から問題になっていた。(表—1) (表—2) (図—1)

石巻地区人口

	総面積 (ha)	人口	国有林面積 (ha)
石巻市	13,671	120,700	533
女川町	6,571	12,400	235
牡鹿町	7,291	6,100	2,886
鳴瀬町	5,204	12,000	64
矢本町	4,981	31,400	102
雄勝町	4,609	6,100	1,640
河北町	12,509	14,300	1,210
北上町	6,096	4,900	1,715
桃生町	4,382	9,100	
河南町	6,933	18,200	
計	72,247	235,200	8,385

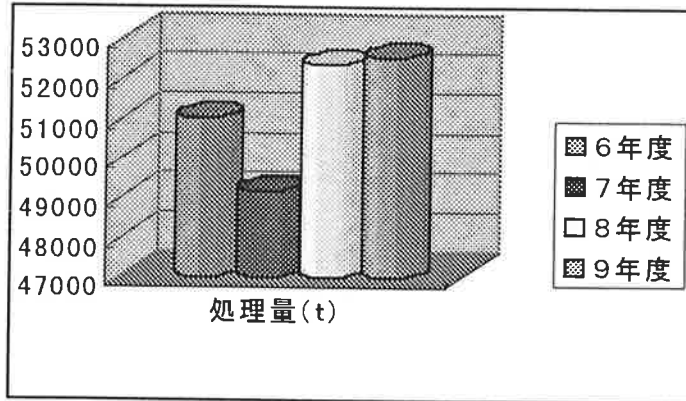
表—1

石巻市の年度別ゴミ処理量の推移

年度	処理量 (t)	一人一日当平均排出量 g/日	一日当平均排出量 t/日
6	51,035	814	139.8
7	49,200	797	135.8
8	52,330	819	142.9
9	52,558	838	144.0

表—2

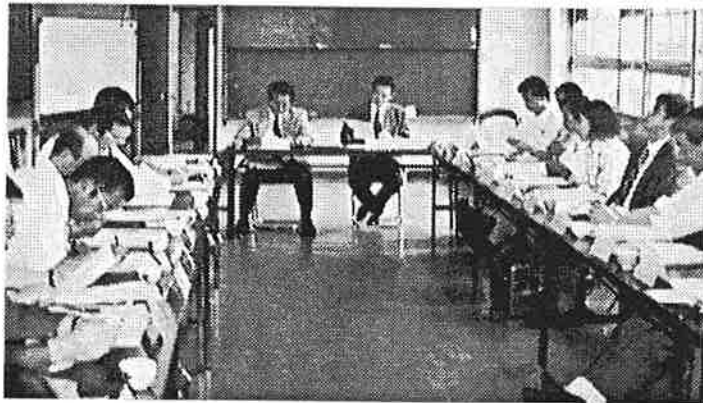
年度別ゴミ処理量グラフ



図一1

そのため、県の指導により関係行政機関で構成される石巻地方環境美化行政連絡会議が設けられており、それを受けて様々な対策が講じられているところである。

(写真一1)



写真一1

署独自でも、不法投棄されやすい国有林地のパトロール等実施し、防止に努めてきたが一向に減る様子もなく、地元住民からの苦情も多数寄せられる等、営林署や市町村にとっても頭の痛い問題となっている。

このままの状態では国有林はゴミの不法投棄場所として世間に知られる所となり、日常的な投棄が懸念されることから、国有林内への不法投棄防止について次のように『町と連携したクリーン大作戦』を実施した。

2 実施方法と経過

当署管内の鳴瀬町・牛網地区は日本有数の景勝地「奥松島」として知られる地域の一部であり、県の自然観察教育林に指定される等、非常に重要な役割を担っている。

しかし、そのような森林内にもゴミの不法投棄が目立ち、鳴瀬町とタイアップし、当該地区、筒場山国有林において『松林クリーン作戦』と銘打った一斉清掃を展開した。

実施にあたっては、事前にモデル地区を選定した後、鳴瀬町に協力依頼し役場の会議室にて

- (1) 日時の設定
- (2) 場所の特定
- (3) 当日の要員配置
- (4) 車両の配置

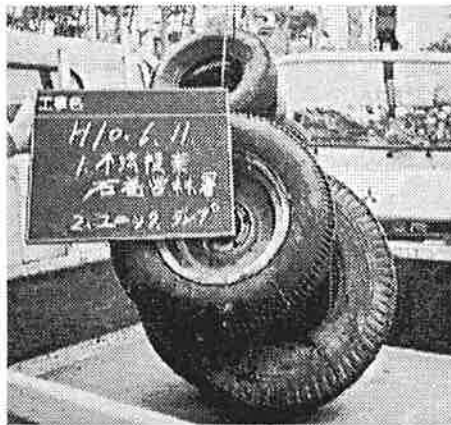
等について綿密な打ち合わせを行った。

また、作戦実施に先立って、資料1のようなチラシを周辺マスコミに配付し、今回の『クリーン大作戦』の内容を認識して頂くとともに、ゴミ問題の提起を促した。

6月10日、朝8:30分に現地に集合し、営林署職員10名、鳴瀬町役場職員5名の計15名で林内に散乱しているゴミの回収作業に着手した。

林内の遊歩道一带を中心に收拾し、初日の午前中だけでもトラックに積みきれないほどのゴミが集められた。

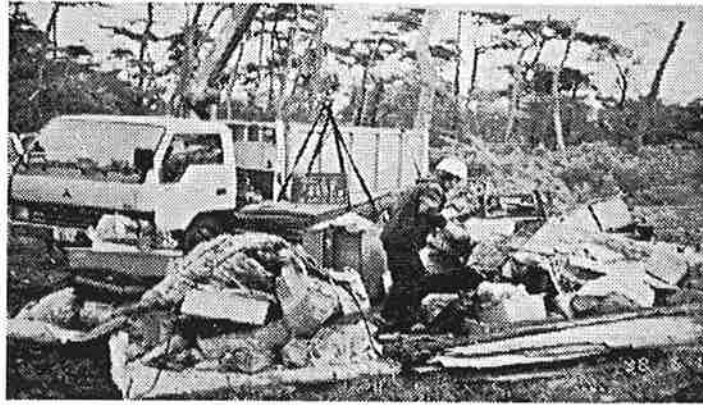
回収作業は翌11日にも行われ、その結果ゴミの種類は、古タイヤ、トタン、プラスチック製品、畳、木材、衣類等多種多様におよび、あまりのひどさに憤りを覚えるとともにモラルの低下を感じた。(写真一2)(写真一3)(写真一4)



写真一2



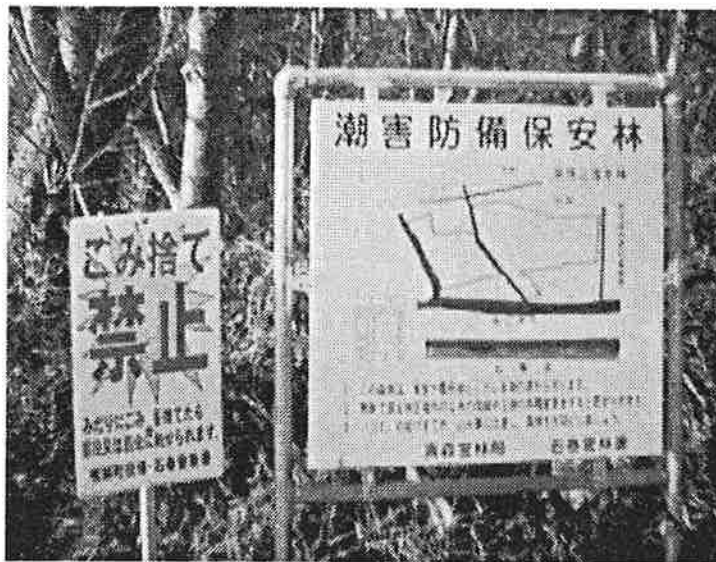
写真一3



写真一4

こうして2日間にわたって実施した回収作業を終え、本来の姿に戻った林内を確認した後、車両に入られ易い箇所にはロープを張り、再度の入林を防止するとともに、付近で生活する住人に注意・喚起する看板を設置した。

なお、この作戦がきっかけで、役場からも何かしなければという気運が高まり、警察署と連名の看板を設置する運びとなった。営林署としても、独自のデザインを施した保安林標識にゴミの投げ捨て防止を呼びかける一文を盛り込んだ。(写真一5)



(写真一5)

3 実施結果

- (1) 町とタイアップしたことにより、大型運搬車を役場が提供する等、営林署単独では困難な作業を実施できた。
- (2) 2日間の作業で約3tもの多量なゴミを回収できた。
- (3) 今回のクリーン大作戦の実施が新聞で報道されたり、FMラジオのトーク番組からも出演依頼を受け、署長他2名が森林の環境保全や意義について紹介・問題提起を行うことができた等、広く世間に訴える機会となった。(写真一6) (写真一7)



写真一六



写真一七

4 考 察

自治体のゴミ回収事業から外れるタイヤ等大型廃棄物が多かったのは、有料ゴミとなるため、人目の届かない自由に立ち入ることができる国有林に捨てられるものと考えられる。また、ゴミの取り扱いが厳しくなっている事情もあり、これからも不法投棄は行われると懸念される。

今回は一箇所だけの取り組みで、まだ管内各地には不法投棄されている箇所が数多く残っていることから、今後も国有林と関係する自治体とタイアップしてゴミ問題に取り組んでいく必要があると思われる。

石巻営林署からの
お知らせ

『松林クリーン大作戦を展開』

この度、石巻営林署では『ゴミ』のない美しい森林を造っていかうと、特に投げ捨て等の多い鳴瀬町牛網地区（筒場山国有林等）を重点に、鳴瀬町役場のご協力を得て『クリーン大作戦』を実施することにしました。

これら森林内には、ジュースの空き缶や中には古タイヤ等もあり、悪質な投げ捨てにあきれ返るありさまで、マナーの悪さが指摘されていまして、下記により実施することになりました。

記

- 1 日 時 平成10年6月10日（水）8：30～16：00
11日（木）8：30～16：00
- 2 場 所 鳴瀬町字筒場山国有林48林班内とその周辺
- 3 従事者 石巻営林署職員及び鳴瀬町役場職員（約15名）
- 4 主な内容 投げ捨てられた空き瓶・粗大ゴミ等の回収除去作業

<<日本の緑・国有林>>

{広報担当：石巻営林署 次長}

Tel0225-95-1158

石巻営林署からの
お知らせ

『松林クリーン大作戦を展開』

この度、石巻営林署では『ゴミ』のない美しい森林を造っていかうと、特に投げ捨て等の多い鳴瀬町牛網地区（筒場山国有林等）を重点に、鳴瀬町役場のご協力を得て『クリーン大作戦』を実施することにしました。

これら森林内には、ジュースの空き缶や中には古タイヤ等もあり、悪質な投げ捨てにあきれ返るありさまで、マナーの悪さが指摘されていまして、下記により実施することになりました。

記

- 1 日 時 平成10年6月10日（水）8：30～16：00
11日（木）8：30～16：00
- 2 場 所 鳴瀬町字筒場山国有林48林班内とその周辺
- 3 従事者 石巻営林署職員及び鳴瀬町役場職員（約15名）
- 4 主な内容 投げ捨てられた空き瓶・粗大ゴミ等の回収除去作業

<<日本の緑・国有林>>

{広報担当：石巻営林署 次長}

Tel0225-95-1158